



二松學舎大学 創立140周年記念事業



東アジア学術総合研究所主催 公開シンポジウム

# 『現代の政策を科学する』

## “Today's Social Sciences in Practice”

### <シンポジウムの概要>

日本のみならず、今日ほど科学・技術と政策のありかたを追究すべき時代はない。

然るに、社会問題の真因を特定しないまま、歴史の評価には堪え得ないであろう政策が横行する昨今、経済学、行政学といった社会科学の知見が充分には活用されていないことを危惧する。

このような現状に対する問題提起を行うとともに、本シンポジウムを端緒とする国際政治経済学部との協働研究プロジェクトの遂行を通じて、これらの知見の理論的「研ぎ澄まし (Sharpening)」を行うことにより政策形成への応用を実践し、意味ある提言を発信してゆく。

併せて、益々混沌感を強める現代社会で、「何を、どのようにして」教育・研究することにより社会科学を実践するのかを明確にしてゆく所存である。この問いは、大学が漫然と総合化、国際化するのではなく、目指すレベル・アーツとしての「融合化」の本質、そのなかでの「専門性」の位置付けを明確にする意味も併せもつ。

**平成28年10月15日(土) 13:30~17:30(開場13:00)**  
**二松學舎大学九段キャンパス1号館 202教室**

※参加無料、事前申込不要、一般来場歓迎

### <タイムテーブル>

- 13:30 開会の辞:** 菅原 淳子 (二松學舎大学学長・国際政治経済学部教授)
- 13:45 基調講演:** 『二松學舎大学の国際政治経済学』 渡辺 和則 (国際政治経済学部教授)
- 14:15 講演1:** 『現代日本の財政・金融政策のミクロ経済学的評価  
 – Unconventional Japanese Economics from General (Dis-)Equilibrium Perspectives –』  
 野村 芳正 (東アジア学術総合研究所特命教授・千葉大学名誉教授)  
 (休憩)
- 15:30 講演2:** 『政治・行政・政策 — 政権と官僚機構の関係はどうあるべきか —』  
 新藤 宗幸 (後藤・安田記念東京都市研究所理事長・千葉大学名誉教授)
- 17:00 質疑応答:** (進行・総括) 田端 克至 (国際政治経済学部教授)
- 17:15 閉会の辞:** 高山 節也 (東アジア学術総合研究所長)



<お問い合わせ>

**二松學舎大学**  
**東アジア学術総合研究所**  
**TEL 03-3261-3535**

- ◎東京メトロ 東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
- ◎JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分
- ※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。